

## 恋人がいない人はいる人に比べ、自己評価と恋人に求める得点の差が大きいことが特徴的 恋人づくりのために「相手への条件範囲の再考と自分磨きの実施」がカギ

【恋愛結婚調査2019】より

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都品川区代表取締役社長 柏村 美生）が運営するリクルートブライダル総研では、恋愛や結婚について詳細を把握するために、「恋愛結婚調査2019」を実施しました。ここに、調査結果の追加分析をご報告いたします。

## ◆恋人がいない人はいる人に比べ、内面と外見における自己評価と恋人に求める得点に差があることが特徴的。「相手への条件範囲の再考と自分磨きの実施」がカギ

恋愛結婚調査2019において20～40代の独身男女の約7割に恋人がいないことがわかりました。では、「恋人がいない人」と「恋人がいる人」ではどのような特徴の違いがあるのでしょうか。付き合うにあたって「恋人に求める得点・自身の得点」について分析しました。

【恋人にする相手に求める得点/自身の得点（全体/恋人有無別/数量回答）】

	内面の得点			外見の得点		
	①相手	②自身	差（相手-自身）	相手	自身	差（相手-自身）
恋人あり	71.5点	58.2点	13.3点	63.3点	55.4点	7.9点
恋人なし	70.8点	52.7点	18.1点	63.0点	47.5点	15.5点
<b>差（恋人あり-恋人なし）</b>			<b>4.8点</b>			<b>7.6点</b>

恋人がいない人という人に「恋人にする相手に求める得点と自身の得点」をきいてみたところ、恋人がいない人はいる人に比べて、内面と外見ともに「自己評価と恋人に求める得点に差がある」ことがわかりました（内面：4.8点・外見：7.6点）。よって、「相手に求める評価と自身の評価の差」は関係性が深い可能性があります。このことから、恋人がいない人は恋人づくりにおいて2つのアプローチが考えられます。1つは「相手への条件範囲を広げてみる」こと。もう1つは「自身で積極的に自分磨きを行い、内面・外見の向上に努める」というアプローチです。この2つのアプローチを踏まえ、恋人づくりの可能性を最大限高める為には、2つを併せて「相手への条件範囲を広げ、自分に自信がもてるよう自分磨きを徹底する」ことが近道になるのではないかと考えられます。

実際に、恋人有無別で「恋愛に対する考え方」に関して分析したところ下記のような結果がみえてきました。

【恋愛に対する考え方（全体/恋人有無別/非常にあてはまる・ややあてはまる計）】

### ◆恋愛とは自分を磨く機会だと思ふ

恋人あり：68.3% / 恋人なし：50.8% 差：17.5pt

### ◆常に異性にモテることを意識している

恋人あり：26.6% / 恋人なし：13.6% 差：13.0pt

### ◆恋愛に対して理想が高い方である

恋人あり：37.1% / 恋人なし：44.2% 差：7.1pt

恋人がいる人はいない人と比べ、「恋愛は自分を磨く機会」として捉えていることがわかります。加えて、「常に異性にモテることを意識している」ということもわかりました。その一方で、「恋愛に対して理想が高い」という割合は恋人がいる人よりも恋人がいない人の割合が高いことがわかりました。これらを踏まえ、やはり「相手の条件範囲を広げ、自分に自信がもてるよう自分磨きをすること」は、恋人づくりにおける重要なカギの1つとなりえるのではないのでしょうか。

◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、「恋愛結婚調査2019（リクルートブライダル総研調べ）」と明記いただきますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

ブライダル総研

本調査の実査を担当する「ブライダル総研」は、を企画運営する株式会社リクルートマーケティングパートナーズにおける調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

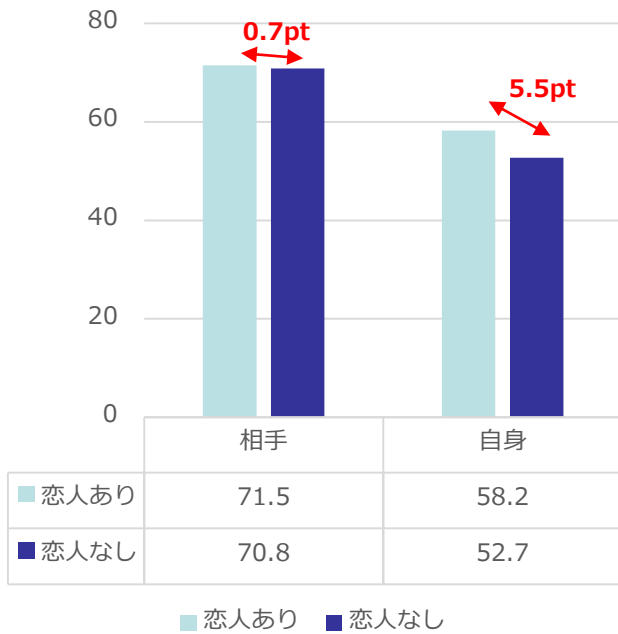
「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー  
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

<http://bridal-souken.net/>

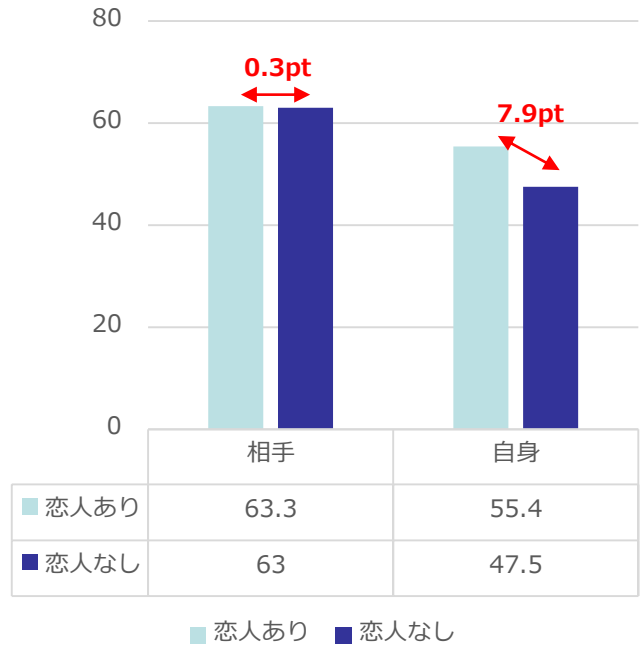
# ブライダル総研 Research News

【恋人にする相手に求める得点/自身の得点（全体/恋人有無別/数量回答）】

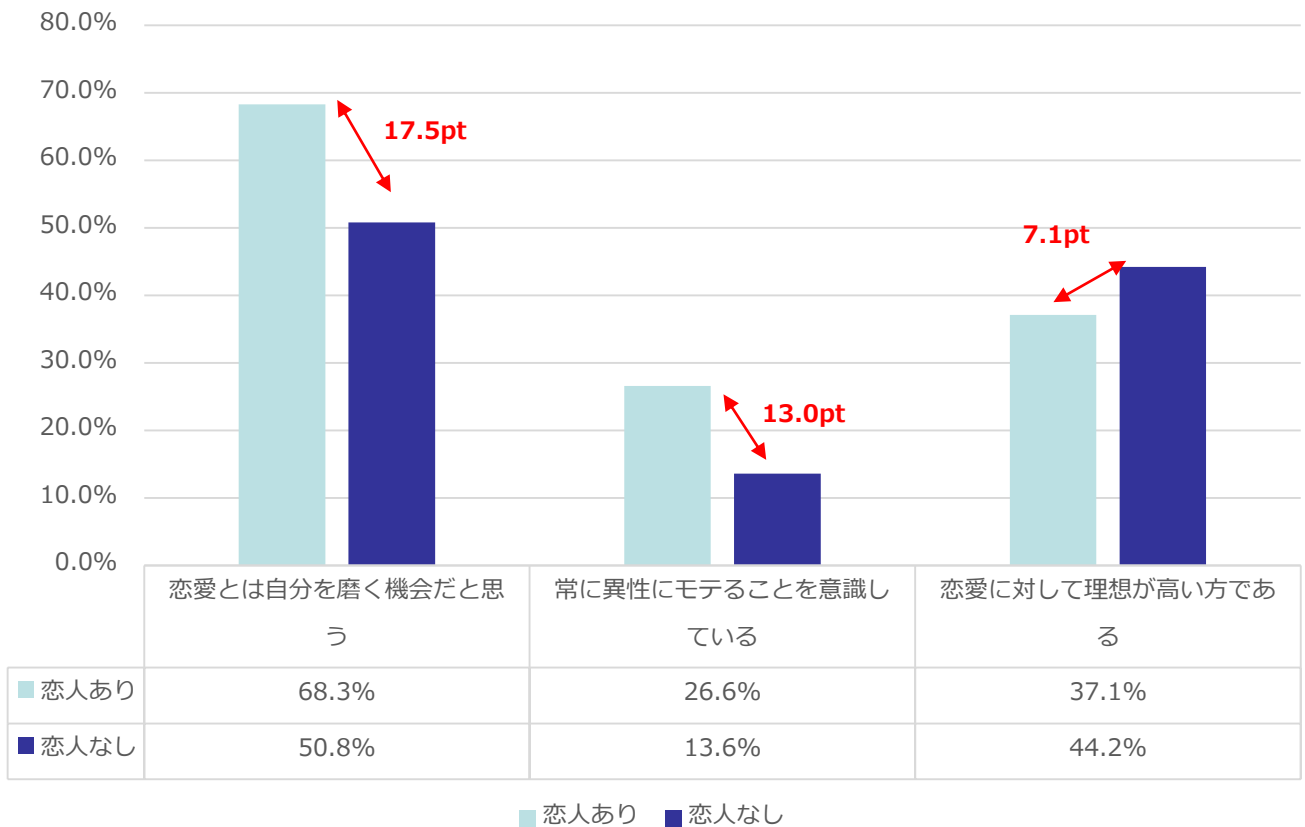
## 【内面の得点】



## 【外見の得点】



【恋愛に対する考え方（全体/恋人有無別/非常にあてはまる・ややあてはまる計）】



## 【調査概要】

### 【調査方法】

インターネットによるアンケート調査

### 【調査期間】

2019年9月12日(木)～2019年9月14日(土)

### 【調査対象】

全国の20～49歳の未婚男女

### 【回収サンプル数】 2,400人

本調査では、性・年代別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に実際の性・年代別の人口構成に合わせるために、サンプルに重みづけを行った(ウェイトバック集計)。

※未婚者に離別、死別者(今は結婚していない)は含んでいない

### 回収サンプル構成

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
男性	200	200	200	200	200	200
女性	200	200	200	200	200	200

合計：2,400サンプル



本調査対象者を抽出するために行ったスクリーニング調査に対して「平成27年総務省統計局人口推計」の「男女年代別人口」を用いてウェイトバック補正を行い、そのスクリーニング調査より算出した各セルの構成比をもとに、本調査対象者(2,400ss)の補正を行った。

### ウェイトバック補正後のサンプル構成

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
男性	372	287	207	177	177	136
女性	339	236	150	120	116	83

合計：2,400サンプル

※ウェイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じておりますが、ご了承ください。

### ◆人口構成比算出元データ

・平成27年総務省統計局人口推計より

<http://www.stat.go.jp/data/itsui/>